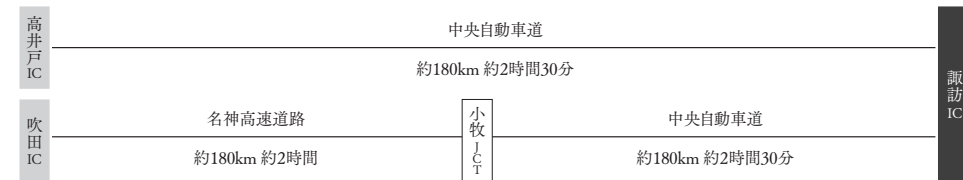
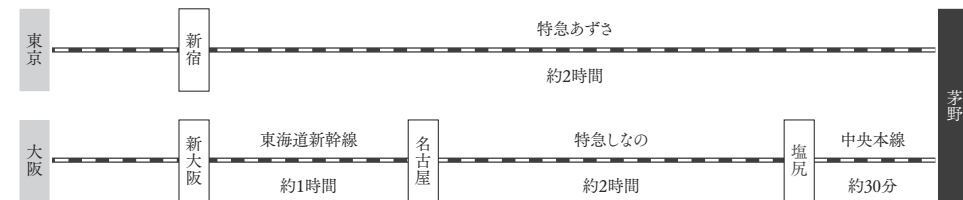


Access 〈茅野までのアクセス〉

車をご利用の場合



電車をご利用の場合



[運営会社]

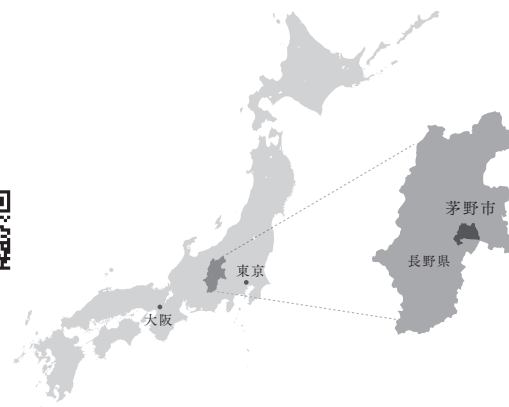
(一社)ちの観光まちづくり推進機構

〒391-0001 長野県茅野市 ちの3506

TEL.0266-73-8550 FAX.0266-78-7310

(営業時間 9:00～17:00 休業日 年末年始)

<https://yamaurastay.jp>



ちの旅

ヤマウラステイ

CHINO TABI YAMAURA STAY

日本文化に息づく「ハレとケ」

日本の文化を育んできた土壌には「ハレとケ」という考え方があります。

結婚式をはじめとした冠婚葬祭は「ハレ」。

服装も食べるものも普段とは異なる、華やかな日です。

いっぽう、日常生活は「ケ」。服も食べものも飾らない、普段の生活です。

農作業の日々があって収穫祭があるように、

日本人は「ハレ」と「ケ」を繰り返しながら暮らしてきました。

自分だけの特別な「ケ」を再発見する日

普段、休みができるとお金をかけ、華やかなイベントや旅行などの予定をいれ、あえて忙しく過ごしていませんか。

これまで旅行はハレであり、物見遊山や豪華な食事など、

お金をかけ日常から離れることが贅沢であると捉えられてきました。

ヤマウラスティを開業するにあたり、

私たちは、丁寧で上質な「ケ」を過ごすことこそが、一番の贅沢であると考えました。

季節や自然と共に暮らしている人は、季節に合わせ食材を野で選び、

収穫を楽しみ、時節の変化を楽しんでいます。

一見、地味で質素に思えますが、それはお金を出せば買えるものではなく、

「ケ」の日々の中にある、小さな行動の積み重ねで手にできる生活の喜びです。

こうした喜びは、都会の生活で感じることは難しく、

この地域の人々の日常を通して感じられるものです。

これまで単調な日常の繰り返しだと思われていた「ケ」を、

ヤマウラスティで特別な「ケ」の日に変えてみませんか？

山の恵みから季節を感じ、暮らす「山浦」

1万年前から自然と寄り添いながら生き抜いてきた 山浦という地

ヤマウラスティがある集落は、地元では山浦やまうらと呼ばれてきました。山浦という字のとおり、山に接した地であることを意味し、遠く1万年前の縄文時代から山の恵みを糧に生きてきた場所です。冷たい山の水を陽に当て温めたり、冬の寒さを利用して、今で言うフリーズドライや漬物といった保存食文化を発展させたりして、工夫をしながら生きてきました。こうした厳しい環境を生き抜くための文化が、今も人々の知恵として残されています。

自然と共存する山浦の暮らし

「山浦」では今も人々が自然に寄り添い暮らしています。冬の凍てつくような寒さを肌で感じ、雪解けの春を喜び、田畑からの収穫や山の恵みを味わう。そうした昔からの農村文化が今も息づいています。日本の多くの地域が失った、五感で日々を感じながら暮らす生活が、ここには残されています。



人々の生活のなかへ

ヤマウラスティは、「山浦」の集落で暮らすように過ごす旅です。ここでは爺じっさ、婆ばっさが朝早くから農作業をし、道で出会えば気軽に挨拶をかわす、とても穏やかな暮らしをしています。そんな集落に建つ古民家で、虫や蛙の声に耳をすまし、静かな時間を過ごしてもいいでしょう。「山浦」の人々に集落を案内してもらったり、一緒に料理をしたりして、「山浦」の日常に入り込むこともできます。そうした時間のなかで、初めてなのに懐かしい、「山浦」の暮らしと営みに触れるのがヤマウラスティなのです。

山浦に佇む、風情ある古民家

アレックス・カーが手がけた 古民家に泊まる

ヤマウラステイで宿泊していただくのは、八ヶ岳の裾野「山浦」の集落の中に建つ古民家です。開村に関わった一族の本宅だった「清水」、その離れとして建てられた「花兎」、川のすぐそばに建ち八ヶ岳を一望できる「金溪」、そして、信州ならではの本棟造りである「洪道」。風情あるこれらの家を、古民家改修の第一人者として知られるアレックス・カーのプロデュースにより、上質な空間に蘇らせました。

ヤマウラステイでは、それぞれ個性のあるこの家を、あなたの山浦の家として一棟まるごと借りて宿泊していただけます。



美しさと風格はそのまま、快適な家に



ヤマウラステイは、上質で快適な空間を目指し、空き家となっていた古民家を改修しました。時を重ねた古民家の持つ風格や美しさは可能な限り残しつつ、現代の生活様式に合う空間につくり変えています。屋根にかかった太く立派な梁や、長年、囲炉裏の煙に燻され黒く艶めく柱などからは、古民家のもつ風格や重厚な美しさを感じていただけます。

滞在中の仮住まいとしてではなく、居心地の良い自分の家に帰ってきたように過ごしてもらいたいというアレックス・カーの想いから、風呂などの水回りはもちろん、滞在中に料理していただけるキッチンも完備しました。あなたの山浦の家として、特別な「ケ」の日を過ごしていただけるよう、美しさと快適さを両立させました。

Interview

奇跡のように残った隠れ里が山浦

今回、改修するにあたりイメージしたのは「Rural Retreat」です。「清水」や「花兎」のある集落のように、山浦エリアは隠れ里のような場所。古い家や開発されていない美しい農地が残った山に囲まれた集落です。一見何でもない集落ですが、実はそういう景色が残っている場所というのは、日本中探してもほとんどありません。奇跡的に守られてきた隠れ里が山浦なのです。

ヤマウラステイで滞在してもらうのは、そんな集落に建つ古い家です。ここでの体験は、家だけで成り立っているわけではありません。周囲の集落や景色も含めて、この旅の目的地なんです。

現代の人々の日常生活は気ぜわしい。そこから逃れよう

と「観光」に行っても、あれやこれやとツアーや観光プログラムが詰め込まれて結局忙しい。

この場所は、そういう日常生活を離れるための家です。山奥にある隠れ里へ入っていき、散歩したり、家のなかでくつろいだり、自由にゆっくりと過ごす。それが「Rural Retreat」という意味です。

もちろん、そのためには快適な場所が必要になります。時代を経たからこそ味がある柱や壁は可能な限り残しつつ、便利で清潔な形に変えてあります。ただ古いわけではなく、本当にリラックスして過ごせる贅沢な家、それがヤマウラステイです。

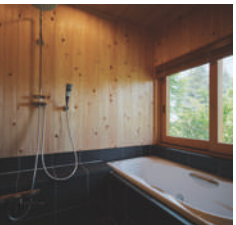


Alex Kerr

アレックス・カー
東洋文化研究家
1952年アメリカ生まれ。1964年に初来日。エール、オックスフォード両大学で日本学と中国学を専攻。1977年から京都府亀岡市に在住し、饒庵有限会社設立、執筆、講演、コンサルティング等を開始。2005年に徳島県三好市祖谷でNPO法人饒庵トラストを共同で設立。2014年「ニッポン景観論」（集英社）、2019年「観光亡国論」（中央公論新社）を共著で執筆。現在は、執筆、講演を中心に古民家の活用プロデュース等の活動を行っている。



新しく広々としたキッチンでは、自炊をすることも可能。調理器具も揃えています。



快適にお過ごしいただけるよう、浴室やトイレなど、水回りを一新しました。



暖かさとし便性を兼ね備えたベレットストーブを設置しました。



Wi-Fiを完備していますので、インターネットもご利用いただけます。

清水

隠れ里に建つ邸宅

もとは長野県佐久地方にあった家を、150年程前に移築する形で現在の場所へ。家自体が建てられたのは1800年代といわれています。一尺もの大黒柱がある、当時の集落内でも特に大きな家だったそうです。

家の一角には、かつて数頭の馬が飼われていた厩^{うまや}があります。天井の高いこのスペースは、改修で吹き抜けのキッチン・ダイニングに生まれ変わりました。

緑側の前に広がる庭には大きな桜や池。池はこの集落の特徴のひとつで、かつては、ほとんどの家の池が水路でつながっていました。春には花見、夏は夕涼みなど、さまざまな楽しみがあります。家屋も敷地も広く、家族や友だち同士などでの宿泊にオススメです。さらに大人数での宿泊を希望される場合は、同じ敷地内にある花兎とセットで宿泊することもできます。

また、アレックス・カーが特に注目しているのが、この清水が建つ集落の景色。山奥へ向かう道にひっそりと佇む集落は、川のせせらぎや田園風景、古い民家などが残された、まさに「隠れ里」と呼ぶべき場所です。



INFORMATION

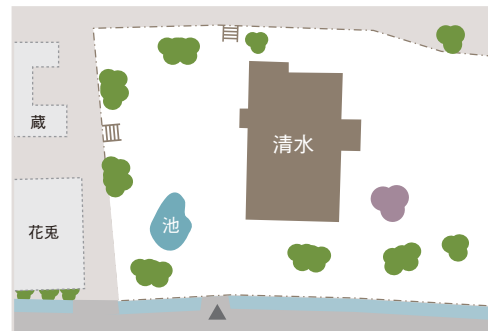
所在地 長野県茅野市湖東

延床面積 141㎡

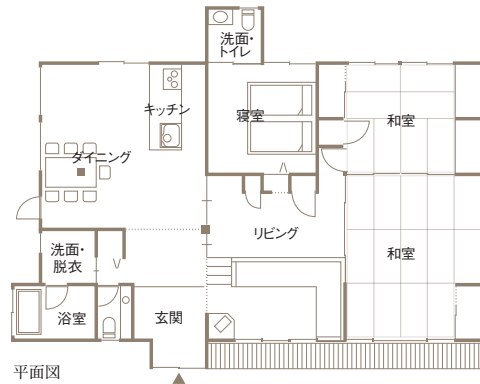
敷地面積 1248㎡

定員 6名

駐車場 2台



配置図



平面図

花兎

清水に寄りそうように建つ家

清水のすぐ隣に建つこの家は、清水の離れとしてつくられました。一家のご隠居が暮らした家屋は、ご夫婦など、大切な方とふたりで静かな時間を過ごすのにぴったりの大きさです。

清水と同じく、集落の景色が一番の魅力。ゆっくりと周辺を散策するだけでも、贅沢な時間を過ごせます。そして、室内から見る景色にアクセントを与えているのが蔵。山浦の古い家は蔵を持つところが多く、花兎のすぐ隣に蔵が残っています。他の地域ではあまり見られない特徴的な造りで、アレックス・カーもお気に入りとして挙げています。また、壁を塗る漆喰を使い、鏝^{こて}で描いた「鏝絵」も蔵に個性を与えています。

窓から見える、蔵を含めた集落の景色は、花兎の見どころのひとつです。



INFORMATION

所在地 長野県茅野市湖東

延床面積 61㎡

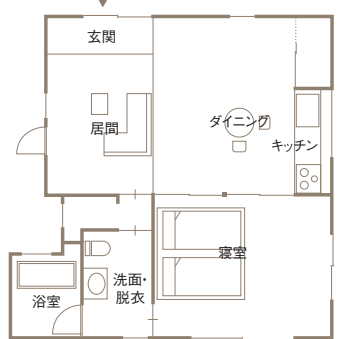
敷地面積 104㎡

定員 2名

駐車場 1台



配置図



平面図

KINKEI

金 溪

川向こうに建つ山すその家

金溪は築110年ほど、明治期に建てられたものと伝わっています。

この古民家を印象付けているのは、そのロケーション。山すそに建つこの家は、目の前に川が流れています。アレックス・カー曰く、「川の向こうにある家に入っていくこと自体がロマン」。特別な場所へ踏み入るような感覚がここにはあります。また、静かな集落に響く川のせせらぎも、金溪で過ごす時間を彩る要素となります。

そして、この家の最大の魅力は大きな窓の向こうに広がるハケ岳。室内からも雄大なその姿を見ることができます。寝室やリビングで過ごす時間が、楽しみのひとつになりそうです。

時には、川の音を聞きながら、のんびり過ごしたり、この場所ならではの景色や自然を堪能できます。



INFORMATION

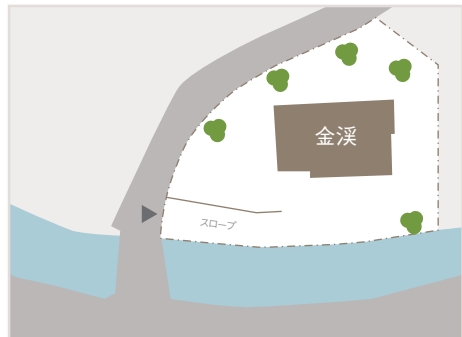
所在地 長野県茅野市金沢

延床面積 103㎡

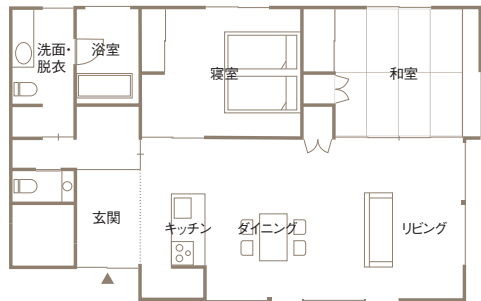
敷地面積 292㎡

定員 3名

駐車場 1台



配置図



平面図

SHIBUMICHI

渋 道

この地域ならではの

本棟造りの家

渋道は、戦国期から栄えた、かつての街場の中心地に建てられました。「本棟造り」という、この地方独特の建築様式でつくられた二階建ての家。本棟造りの特徴は、正方形の間取りと、大きな屋根。この地域は気温は低いものの雪は比較的少なく、雪の重さで家が潰れるような心配も少ないため、傾斜が緩く大きな屋根を持つ建築様式が発達したのです。

改修により寝室となった二階は、かつて養蚕が行われていた場所。梁が見える、広々としたこのスペースは渋道の面白さが詰まっています。一階の囲炉裏の煙を逃すための筒状のものが、二階部分に突き出ているのも特徴のひとつ。今回の改修でも、囲炉裏とともに残しており、当時の生活が想像できます。

この他にも、土壁が残る庭の蔵や、かつては菜っ葉を洗ったりした家を囲む水路など、風土と調和しながら生きてきた人々の暮らしを感じることができます。



INFORMATION

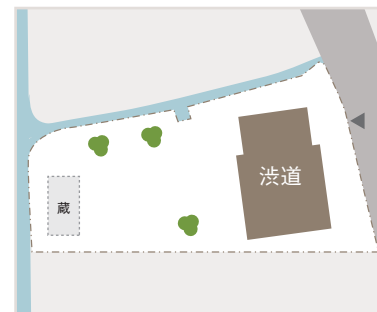
所在地 長野県茅野市北山

延床面積 183㎡

敷地面積 662㎡

定員 6名

駐車場 1台



配置図



1F 平面図

2F 平面図

ヤマウラスティの過ごし方

あなただけの特別な「ケ」の日を過ごしていただくため、様々なオプションをご用意しました。
オプションを通して山浦の暮らしに深く触れることも、何もしない静かな時間を楽しむことも可能です。
それぞれの特別な「ケ」の日をお楽しみください。

DAY 1

1 チェックイン



ちの旅案内所でチェックイン。
その後、宿泊される山浦の家まで、
ちの旅案内人がご案内いたします。

2 古民家でひと休み



古民家に着いたら、まずは旅の疲れを
癒やす時間。ご希望の方には、山浦
の家の歴史などをご説明いたします。

3 お散歩や温泉も



家のまわりを散策したり、少し足を延ば
して温泉に行ったりして、山浦の時間
をお楽しみください。

4 選べる夕食

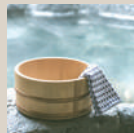


自炊、ケータリング、外食など、地元食
材を使った様々なメニューをご用意し
ております。

Choice

山浦散歩

地元の爺っさ、婆っさによる山浦案
内プログラム。地域の歴史や昔な
がらの暮らしを教えてください。



温泉

八ヶ岳の裾野に広がるこの地域に
は複数の源泉があり、少し足を伸
ばせば数多くの温泉を楽しめます。

Choice

自炊

キッチンには、食器や調味料
をご用意しております。山浦の
家でお料理をしていただくこ
とも可能です。



ケータリング

地元飲食店から、地域の食
材を使ったヤマウラスティ特
別メニューをお届けします。



外食

洋食、和食、イタリアンなど
様々なジャンルからお選びい
ただけます。タクシーの手配も
承ります。



体験プログラム

山浦の家にあるキッチンで、
地元の方に郷土料理を教え
てもらうプログラム。料理後は
一緒に食事を楽しめます。

DAY 2

5 農村の静かな夜



夜は星空を眺めたり、ゆっくりとお酒を
飲んだり、山浦ならではの静かな夜を
お楽しみください。

6 日の出に起床



八ヶ岳越しに朝日が昇る景色は、この
土地ならではの。山浦の家に泊まる魅力
のひとつです。

7 朝ごはん



穏やかに朝日が差し込む部屋で
土地の食材を使った、ケータリングや
自炊をゆっくりと楽しむひとときを。

8 アクティビティへ



チェックアウト後はちの旅アクティビ
ティへ。八ヶ岳の自然や、茅野の文化
をお楽しみください。

Choice

「ちの旅アクティビティ」で 地元の人しか知らない体験を

ちの旅スタッフがセレクトした
特別なアクティビティを、
オプションで追加していただけます。

その他のアクティビティは「ちの旅」で
<https://chinotabi.jp>

自分だけの包丁づくり

包丁や鋏など、地域の生活に根
ざした道具をつくり続ける鍛冶
屋・定正の職人さんに教わり、
自分だけの包丁をつくる体験。



日帰りいなか暮らし体験

農作業、手仕事、夕食づくりを
共にに行い、同じ食卓を囲む。
単なるお客様を超え、家族の一
員のような時間を過ごせます。



棒寒天づくり見学

寒く乾燥した気候の茅野市は寒
天づくりが盛んで、現在では天
然寒天の生産量日本一の土地。
その技術や文化を学びます。



郷土おやつ作り

地域の婆っさに伝統のレシピ
を教わります。凍みる冬ならで
はの保存食などを使い、季節
ごとのおやつをつくります。

ヤマウラストイご利用案内

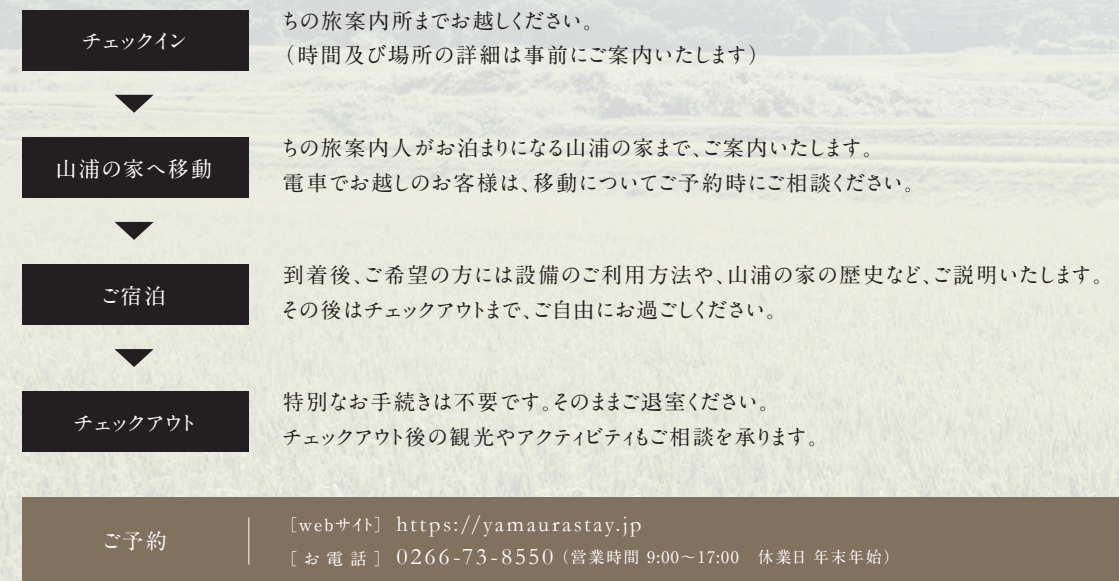
一棟貸しの宿

ヤマウラストイの基本プランは素泊まりです。食事は、自炊や外食など、自由にお選びいただけます。
ちの旅案内人にご相談いただければ、別途ケータリングや外食の手配も承ります。

オーダーメイドプランのご提案

ヤマウラストイでは宿泊だけでなく、過ごし方のご要望にもお応えいたします。ご予約の際、現地でどんな体験をされたいか、どんな時間をお過ごしになりたいか、お申し付けください。ちの旅案内人が滞在プランをご提案いたします。

ご利用当日の流れ



ヤマウラストイ プロジェクトのご案内

近年、全国どこも同じような店が並び、沖縄にいても北海道にいても同じような商品が買えるようになりました。また、住宅も工業化が進み、どの地域も同じような家が建ち並び、家や景観、食文化に地域差がなくなり、日本中どこも均質化しつつあります。
茅野市の山里にある「山浦」と呼ばれる集落は、コンビニやスーパーもなく、昔ながらの日本家屋が立ち並ぶ地域です。今も、古き良き伝統や文化が受け継がれた、貴重な景色が残されています。
その山浦も高齢化が進み、十数年後には小学校の存続が難しいと見込まれているのが現状です。さらに、茅野市自体も空家率が約40%で、全国ワースト6位。全国平均の12%と比較すれば3倍以上で、空家が放置され景観の悪化が進んでいます。
今や目にすることの少なくなった昔ながらの生活・文化が残る山浦も、高齢化・過疎化と共に、美しい風景、まちなみ、伝統的に行われていた普通の暮らしや食文化が失われつつあります。

そこでヤマウラストイ プロジェクトが取り組んでいるのが、山浦の暮らしを残しつつ、持続可能な地域にするため、空家となった古民家を活用した宿泊施設(ヤマウラストイ)をつくる活動です。廃墟となりつつあった空家をヤマウラストイとして改修し、別荘として、将来は終の棲家としてお住まいいただけるような方と、活動を続けていく計画です。私たちは、ヤマウラストイのオーナーとなる方と共に作り、ご要望に沿えるような運営を目指そうと考えています。

ヤマウラストイは、美しい風景やまちなみ等の視覚的な問題を解決するだけではありません。山浦の生活・文化を残すため、その集落内で雇用の場をつくり、持続可能なサイクルを確立することが目標です。
空家だった古民家をヤマウラストイに改修し、この地域を知らなかった方が山浦を訪れ、宿泊する。滞在中、厳しい山浦の環境を生き抜いてきた人々が持つ生活の知恵を、郷土料理体験プログラム等を通し垣間見、地域の方と宿泊される方が交流する。地域の方が、伝統的に行われていた古民家の掃除方法を活かし、ヤマウラストイの清掃やメンテナンスを行い、収入を得る。このように地域の中で資源を循環させるヤマウラストイプロジェクトを通し、この地域らしい景色や文化、暮らしを残す活動にご賛同頂ける方と、持続可能なまちづくりをしていきたいと考えています。

